

## 令和2年度 第2回大会・研修委員会 会議録（概要）

日時：令和3年2月5日(金) 14時～17時

開催方法：リモート形式

出席者：長谷川副委員長、青木委員、新井委員、三宮委員、蓮沼委員・吉田委員  
加藤オブザーバー(東北大学)、佐藤オブザーバー(東北大学)、  
山本オブザーバー(山口県文書館)、事務局(桜庭・煙山)

### (1)令和2年度事業報告・決算案について

◇概ね了承

### (2)令和3年度事業について

#### ①令和3年度事業計画・予算案について（事務局案）

◇来年度の全国大会はリモートを併用する形で使用することで予算を編成。

#### ②全史料協高知大会リモート実施方法について（次期事務局山口県から提案）

◇通常の開催とリモートの併用開催は、業務が大幅に過多となることが想定されるため、併用は行わない前提でリモートの実施方法を提案。

◇次期事務局にリモートの技術を補助する職員を置く（4月～12月）。

#### ③協議

◇リモートの契約を大会・研修委員会を含む各委員会が行うのか、会長事務局が一括して行うのかについては会長事務局および役員会に諮る。

◇リモート契約の主体が会長事務局になるか委員会になるかは別として、大会開催用のリモートに関する機材（PC・タブレット等）の購入予算はある程度必要。

◇大会については通常の開催に加えてリモートを併用する形式で準備を進める。

◇リモート形式は現在のところ以下のような形式とする。

- ・大会当日にスケジュールに沿って発表を配信。
- ・発表後に質問受付・質疑応答の時間を設ける。
- ・研修・大会日程は新年度第1回委員会で検討。
- ・ZOOMを使用することを基本に検討する。
- ・リモート参加の場合、大会参加費の納入と引き換えにパスワードを送付。

◇大会（会場での通常開催形式）開催の可否についての判断は、新型コロナウイルスの感染状況などを見た上で、今年度と同様6月いっぱい（第2回委員会開催の可否）で委員会としての判断を会長事務局に伝える。

### (3)令和3年度全国(高知)大会について

#### ①開催地準備状況報告(三宮委員)

◇会場は高知市文化プラザで、当日の委員会控室などは高知市中央公民館を使用する。

◇高知市文化プラザについては会場費払い込み済み。

◇開催地準備会の開催と地元要望

◇高知県内の現状と課題について

- ・人口が少なく財政が厳しい状況下で、様々な施設・団体が行政・民間などの垣根無く分野を超えて連携している。
- ・各館・団体が情報共有や相互扶助などを行うことで分野を超えたつながりが広がっている。個から全体への広がりができつつあるが、仕組み作りとしてはミュージアムネットワークはあるものの、まだこれからの部分が多い。大会の構成案としても軸になる部分であるが、そのような動きは全国から見た中でどう評価されるのか。また全国の事例を聞いてみたい。
- ・高知県では「アーカイブズ」という言葉にまだなじみがないので、あえて今回の大会で使用することで理解を広げたい。
- ・研修会等で全体像を聞いてから、高知県内の個々の発表をするのがよい。
- ・高知県内の状況については高知ミュージアムネットワークの報告で全体像を示すことができると思う。

#### ②協議

- ・様々な史料保存機関が行政の枠を超えたネットワークで機能しているとすれば、全国にも参考になることが多い。
- ・アーカイブズ入門の担当者をはじめとする研修会の持ち方など、全史料協として考えなければならないテーマは多いが、新型コロナウイルス感染拡大、認証アーキビスト、文書のデジタル化への対応など、調査・研修委員会などとの連携・役割分担は必要。
- ・認証アーキビストの横の連携が今後必要。

### (4)令和3年度委員体制について(長谷川副委員長)

#### ①令和4年度以降の大会開催地について

◇令和4年度は滋賀県大津市、5年度は宮城県仙台市での大会を予定。

◇令和6年度については近畿地域での開催を検討中。

#### ②令和3年度委員について

◇令和4年度開催予定地となった滋賀県から1名。

◇今年度大会が中止になったことから、大会を経験している現在の委員の留任を基本とした体制とする。